



更なる多目的利用、結婚式などの行事に活躍が期待

久美浜公会堂（東本町）に、旧海部小学校で使われていたアップライトピアノを設置しました。町内には音楽活動を行える専用の施設が無く、サークル活動等の際は、体育館に楽器を持ち込んだり、集落センターに設置された楽器を使用したりしてこられました。しかし、体育館は社会体育の利用があるほか、集落センターも防音等に課題があり、市民の方から、久美浜公会堂にピアノを設置してほしいとの強い要望をいただきました。

そこで、使用されていない校舎の楽器の有効活用を図るとともに、身近な場所でどなたでもピアノに触れ、音楽に親しんでいただけるように設置したものです。

この設置に際し、地元の方にもご協力いただき、ピアノのクリーニングや部品交換、調律などを行い、良い音をよみがえらせることができました。ありがとうございました。

近年は、結婚式など様々な用途で利用いただいており、今後、市民の方に幅広く利用いただき、地域活動の拠点としてもご活用いただきいと期待しています。



久美浜公会堂は、現在緊急事態宣言発令中のため使用できませんが、市外の方も含め、利用申請いただければどなたでもご利用いただけます。また、令和4年3月末まで、市内の方の営利目的でない使用には、減免措置があります。

利用申請や使用方法など、詳しくは久美浜市民局までお問い合わせください。

久美浜小学校、創立150周年！

久美浜小学校の前身である久美浜縣小学校が、明治3年3月に長明寺を仮校舎として開校してから、今年で150周年を迎えます。

久美浜小学校6年生が、学級行事として、久美浜まるごと実践会議が所有しているLED電球を活用し、グラウンドに「150周年 久美小」という文字を描きました。

学級行事を提案された学級委員の山口美紀さんは、「6年生恒例のキャンプはコロナ禍で断念しましたが、たくさんのキャンドルをお借りして、記念になる行事を開催することができました。」と話しておられました。



久美浜湾周辺をおもしろくするワークショップ開催！

久美浜まるごと実践会議では、アメニティー久美浜公園を玄関として、久美浜全体に賑わいを創出するため、行政にまかせるだけでなく、市民・事業者自らも参加・活動するプランを作成する「久美浜湾周辺をおもしろくするワークショップ」を、6月から7月にかけて、3回実施しました。

ワークショップでは、海の水産、農の水産、自然、歴史文化、イベント及び観光の各分野において、具体的に誰がどんなことができるのか、活発な議論が交わされました。

現在、ワークショップで出た意見を基に、役員会でプランの作成を進めています。



シーカヤックで行こう！ CMで話題のツリーハウスへ！



平成20年11月、蒲井・旭地域振興のシンボルとして、高さ16mのタブノキにツリーハウスが設置されました。ツリーハウスは自然環境や心と体、環境にやさしい交流の場所として、全国へ発信するために整備されたものです。

毎年、多くの方が訪れ人気を集めていましたが、度重なる災害により、ツリーハウスへの道が被災して通行止になり、また、老朽化が進んでいるため、ツリーハウスへのぼることができなくなっていました。

そこで、平成31年に市からツリーハウスの移譲を受けた地元の旭・蒲井活性化協議会が、シーカヤックの体験コースとして、海からツリーハウスへのルートを確認するとともに、市のコミュニティビジネス応援補助金を活用し、手すりや階段を補修し、もう一度ツリーハウスにのぼって景色が楽しめるように整備されました。

最近では、ツリーハウスでアルコール飲料のテレビCMのロケが行われ、テレビ番組や新聞等でも取り上げられたことから全国的にも有名になり、多くの方が来ておられます。

シーカヤックは、現在1人乗り11隻と、2人乗り5隻で運営されており、インストラクターの養成も進めておられます。

シーカヤックのインストラクターも務める、同協議会の浜上誠さんは、「ツリーハウスルート以外にも様々なツアーコースがあるので、ぜひシーカヤックを体験してほしい。多くの方に蒲井・旭や久美浜町のことをもっと知ってもらえたらうれしい」と話しておられました。



ツリーハウスやシーカヤックについて、詳しくは同協議会（風蘭の館：83-1033）にお問い合わせください。